

かながわの 砂防事業 100周年 記念講演会

～地域を守る
次の100年へ向けて～

かながわの砂防事業は、
大正12年(1923年)の関東大震災を契機として
大正14年(1925年)から開始しており
令和7年(2025年)は、着手から100周年を迎え
新たな1世紀のスタートの年に当たります。
これを記念し、県民のいのちと暮らしを守り
社会・経済活動を支え続けたこれまでの100年と
これからの100年を語る、講演会を開催します。

11月21日  **13:30-17:00** (開場 13:00)

写真:昭和7年完成 山ノ神堰堤

会場 足柄上合同庁舎 5階大会議場 足柄上郡開成町吉田島2489-2

プログラム

13:00	開場	13:30	開会あいさつ	加藤 修平 氏 (神奈川県治水砂防協会会長, 南足柄市長)
13:40	テーマ	『今後の砂防行政の取組について』 椎葉 秀作 氏 (国土交通省 砂防部 砂防計画課長)		
14:10	テーマ	『砂防の歩み～、そして・・・』 岡本 正男 氏 ((一社)全国治水砂防協会 副会長)		
15:10	テーマ	『関東地方の歴史的な大規模土砂災害』 井上 公夫 氏 ((一財)砂防フロンティア整備推進機構 専門研究員)		
16:20	テーマ	『砂防と私』 網倉 孝 氏 (神奈川県砂防ボランティア協会 会長)		

定員 200名 (参加費; 無料)

申込方法 インターネットによる事前申込(申込期限 令和7年11月14日(金))
右のQRコードから電子申請システムにより、お申込みください。
募集定員に達し次第、受付終了とさせていただきます。



お問い合わせ

神奈川県 県土整備局 河川下水道部 砂防課
横浜市中区日本大通1 電話045-210-6508

かながわ砂防100周年



かながわ砂防100 歴史パネル展

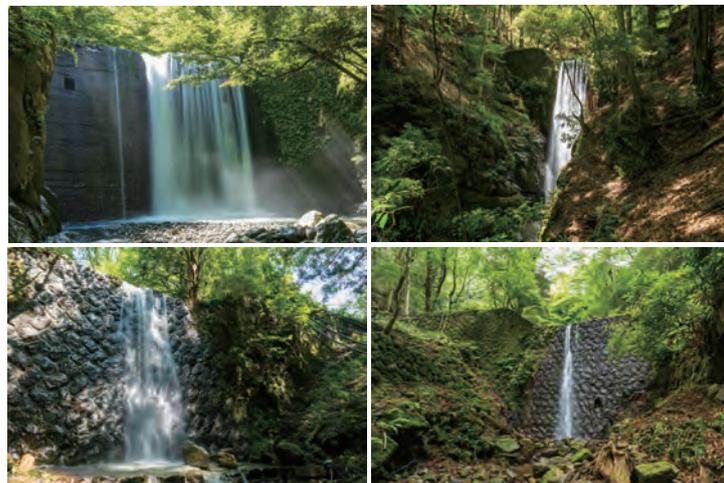
100年を経た今もなお

土砂災害から「いのち」と「くらし」を守り続ける

大正14年(1925年)に完成した堰堤や

国指定登録有形文化財に指定された堰堤たちの

今の姿や貴重な資料をパネルにして展示します！



関東大震災 写真パネル展

大きな揺れで丹沢や箱根の山地全域を崩壊させ

かながわの砂防のきっかけとなった

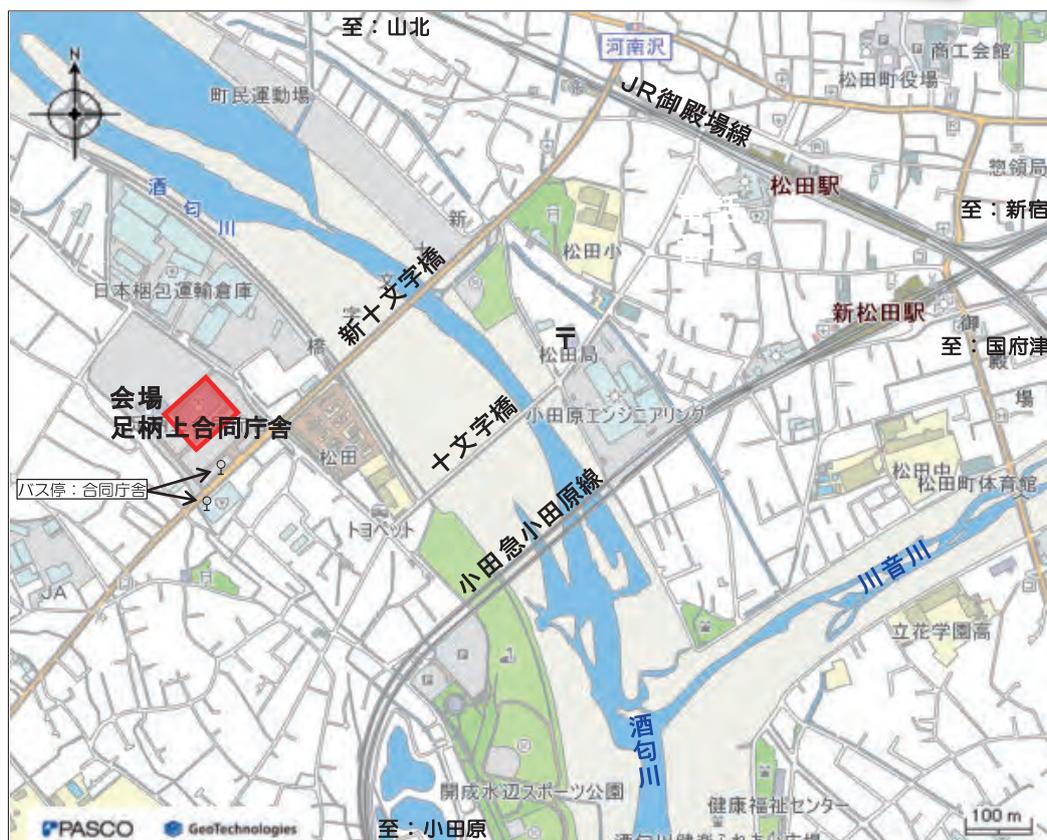
関東大震災の当時の貴重な被災写真などを

パネルにして展示します！



☞パネル展は当日朝10:00から
どなたでもご覧いただけます！

会場位置図



交通案内

小田急線・JR御殿場線 利用の場合

小田急線「新松田駅」JR御殿場線「松田駅」下車 徒歩15分

新松田駅前から箱根登山バス「関本行き」5分 バス停「合同庁舎」下車

伊豆箱根鉄道大雄山線 利用の場合

大雄山駅前(バス停「関本」)から箱根登山バス「新松田駅行き」10分 バス停「合同庁舎」下車